



まちの野鳥ウォッチング 1/12

町教育委員会による『まちの野鳥ウォッチングー冬鳥編ーオオワシ・オジロワシ観察会』が静内川河川敷で開かれ、町民ら30人が参加しました。
町内の日高鳥類研究所の谷岡隆所長が講師を務め、静内目名地区などで観察。オオワシやオジロワシが川岸の木に10羽以上止まっている姿や、カラスと一緒にエサをついばむ姿、悠然と大空を舞う姿に双眼鏡を手にした参加者からは「大きい」「かっこいい」などの歓声が上がっていました。



冬の日の風景 1/8~11

町教育委員会によるわんぱくチャレンジスクール『冬の日の風景』が、日高町の国立日高青少年自然の家で開かれ、町内の小中学生24人が参加しました。
子どもたちは3泊4日の期間中、スノーラフティングやアイスタワー作り、歩くスキーなど、冬の自然を満喫。さまざまなレクや体験を通じ、交流を深めるとともに楽しい冬休みの思い出を作りました。

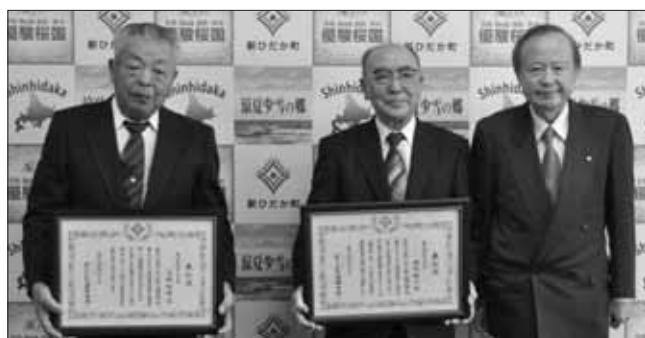


平成25年新年交礼会 1/7

町商工会などの産業団体が主催する新年交礼会が静内ウエリントンホテルで開かれ、町内の企業や団体などから約230人が出席しました。
主催者を代表して、町商工会の會澤實会長が「厳しい経済状況が続く中、みんなが景気の好転を望んでいる。国の経済対策に関心を持ちながら、町の発展を願い、一丸となってより良い地域づくりに取り組もう」とあいさつ。出席者は、お互いの新年の飛躍を願いながら歓談していました。

ニュースフラッシュ

まちのできごと、話題をお届けします。



新ひだか町善行表彰 1/15

町は、長年にわたり町内の花壇整備や公園の清掃などの奉仕を続け、環境整備に貢献した釣谷林一さん（静内本町）と上野松男さん（静内こうせい町）に善行表彰を贈りました。
釣谷さんは、地域の中心となって静内駅前の花壇の造成植栽管理を行い、上野さんは、町道の花壇整備や公園の草刈りなど地域の環境作りに取り組んでいます。酒井町長は「地道な活動のおかげで、町の環境整備が進みました」と感謝を述べました。



厚生労働大臣表彰伝達式 1/11

長年、社会福祉事業に従事し、社会福祉の発展向上に貢献した方に贈られる厚生労働大臣表彰（社会福祉事業関係団体功労）を一ノ瀬敏明さん（三石本桐）が受賞し、富田副町長から表彰状が伝達されました。
一ノ瀬さんは、本桐保育所を運営する社会福祉法人本桐福祉会の理事、理事長として、30年以上の永きにわたり、法人と施設の健全運営に努めるとともに、地域の児童福祉向上に尽力されました。



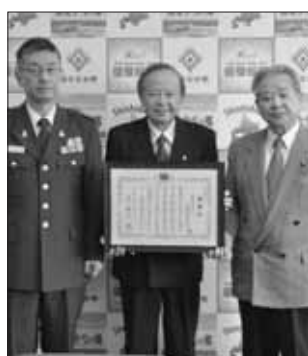
地域おこし協力隊 着任 1/7

町は、地域おこし協力隊（観光振興支援員）として田中啓司さんを1月1日付けで採用しました。
地域おこし協力隊は、都市部の人材を地方に招いて働いてもらい、定住・定着を図り地域活性化につなげることを目的とする取り組み。
札幌市出身で東京の文具店に勤務していた田中さんは「東京にいたころ、北海道の活性化は観光と感じていた。経験をいかし別の角度から新ひだか町を全国にPRしていきたい」と抱負を語りました。



第135回中山大障害 制覇 12/22

中央競馬の『第135回中山大障害』（J・G I、芝4100メートル）が千葉県の中山競馬場で行われ、松田牧場（静内豊畑）生産馬のマーベラスカイザー号がG I初勝利を飾りました。
マーベラスカイザー号は、最終障害飛び越え後に先頭に立ちそのまま押し切り、見事1着でゴールイン。
レース後、同牧場には続々と関係者が訪れ、喜びと祝福の声であふれていました。



防衛大臣感謝状伝達式 1/16

東日本大震災で活動した静内駐屯地を支援した町自衛隊協力会（会長・酒井芳秀町長）に防衛大臣から特別感謝状が贈られ、同駐屯地の高木勝也司令から伝達されました。



交通安全祈願祭 1/10

静内地区の交通安全団体関係者による『交通安全祈願祭』が静内神社で行われました。参加者は、玉ぐしを捧げて今年一年の地域の交通安全を祈願しました。



防災祈願セレモニー 1/7

静内消防団（大滝裕団長）による『防災祈願セレモニー』がピュア前で開かれ、町民ら約100人が参加しました。団員は力強くまとい振りを披露し、今年一年の防災を誓いました。



スタンドグラス教室 12/18

町教育委員会による文化講座『はじめてのスタンドグラス教室』が町福祉センターで開かれ、10人が参加し、思い思いの模様をあしらった小物入れ作りに挑戦しました。